

第9回税に関する絵はがきコンクール入賞作品

◎本コンクールは、税金は私たちの生活の中でどのように役立っているのか?ということをお学生のみなさんに認識して頂き、絵画で表現することにより「税」への理解と関心を深めていただくことを目的として毎年実施致しております。

今年度は、9枚から201点の応募があり、厳正な審査の結果、7点の素晴らしい作品が入賞しました。ご指導下さった先生方、関係者の皆さん、描いてくれた生徒の皆さんほんとうに有難うございました。



沖縄税理士会宮古支部長賞  
源河 智喜 (南小学校)



沖縄県宮古事務所長賞  
宮國 藍 (南小学校)



青年部長賞 奥平 里奈 (平良第一小学校)



宮古地区租税教育推進協議会代表幹事賞  
下地 沙綾 (久松小学校)

法人会  
消費税期限内納付  
推進運動

めざします 企業の繁栄と社会への貢献

(1)



公益社団法人 沖縄宮古法人会

平成31年1月発行  
第48号新年号

# 広報みやこ

発行所：公益社団法人 沖縄宮古法人会 〒906-0012 宮古島市平良字西里240番地2 (琉球銀行宮古支店ビル4F)  
TEL (0980) 73-5512 FAX (0980) 73-5513 E-mail:ok3-5512@m1.cosmos.ne.jp  
http://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/okinawamiyako/

第9回税に関する絵はがきコンクール入賞作品



沖縄宮古法人会長賞 立津 史音 (平良第一小学校)



女性部長賞 兼本 桜子 (北小学校)



宮古島税務署長賞 久貝 恵玲奈 (平良第一小学校)

主な内容

- 年頭のごあいさつ
- 沖縄を語ろう「猪垣には落とし穴も 干猪肉を王府へ歳暮に」～米須邦雄氏に聞く～
- 読み物「ようこそ日本へ」「まだ遠い先のことと侮ってはいけない「若年性認知症」」
- 写真で見える会活動
- 沖縄県・宮古島市・税務署・法人会からのお知らせ

# 猪垣には落とし穴も 干猪肉を王府へ歳暮に

～米須 邦雄 氏に聞く(大宜味村教育委員会教育長)



—大宜味村の猪垣の概要について、地元では何と呼んでいるのですか？

米須 大宜味村ではイノシシをヤマシシ、猪垣をヤマシシガキと呼んでいます。猪垣の起源は、『球陽』(尚穆王三十六年)に、1776年から82年に掛けて改修した記録が残っていますので、それ以前にさかのぼります。私も参加した1990年度から3年間掛けて行った猪垣調査では、大宜味村内に計13.1キロ残っていました。しかし、戦後の調査では「全村の猪垣は3万1798メートル(約32キロ)に及ぶ」と記録されています。山頂から津波まで、全村を囲むように、地形をうまく利用して築かれています。高さは1.3～1.8メートルで、面白いのは、地形に合わせて、イノシシを効果的に阻害するように形状が工夫されているところです。タイプを挙げますと9つあり、①石葺②石垣③土葺④土壁⑤堀切⑥堀切+土葺⑦切り上(土葺)⑧竹・木(通れないように結んである)⑨落とし穴(多数あり、3mの深さ)⑩自然の断崖。猪垣は、大宜味村だけでなく、ヤンバル全域に現在も一部が残っています。かつては、村を越えて結ばれていたのでしょう。いまでもその山の中にありますが、当時の山々は、猪垣の外側が全面的に開墾されていたので、1881年



大宜味村の猪垣(一部)

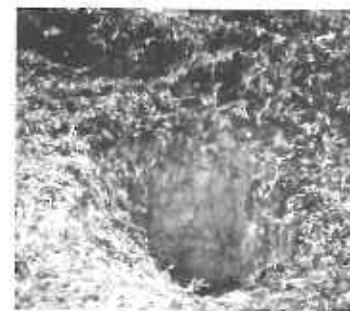
ヤンバルの山々はかつて、標高が高いところまで段々畑が広がり、そのなかに「万里の長城」を思わせる猪垣が延々と延びる光景が見られたことを、皆さんはご存知でしたでしょうか。

また、正月料理でおなじみの「イナムドッチ」は「猪もどき」が訛ったもので、元来、猪肉を食材に使っていたらしいこともご存知でしたでしょうか。「沖縄を語る!」今回のゲストは、大宜味村教育委員会教育長の米須邦雄さんです。今年は亥年。リュウキュウイノシシにまつわる話題として、「十里の長城」こと大宜味村の猪垣を中心にお話をうかがいました。(敬称略)

の上杉茂憲県令日記「沖縄本島巡回日記(秋永桂樹筆記)」には、安田から安波へ南下する船上で見た山の様子を「猪垣山腹ニ連耳ス、マタ長城ノ図看ルカ如シ」と記録されています。つまり、当時は猪垣がよく見えたのです。

—大規模な猪垣を築いたということは、それだけイノシシによる被害が多かったということですか？

米須 恐らく1600年代には猪垣が存在したのではないかと考えています。といいますのは、野国絵官がイモを中国から持ち帰り、その栽培法を徳間貞常が広めたのが1600年代だからです。イモの普及によって、琉球では人口爆発が起きました。大切なイモがイノシシ被害に遭うと死活問題になりますので、各集落をあげて猪垣を築いたのでしょう。時代が下って戦後も、自給自足の生活をたてるために、イモの増産が図られました。村民総出で猪垣の保全に努めました。猪垣改修は、行政指導により各集落で競う「原山勝負」の審査項目にも入っていたほどです。私も少年時代、昭和20年代の半ばころでしたが、改修に参加しました。その頃は、山のとっぺんまで段々畑がありました。つまり、50年ほど前まで、1600年代から恐らく存在する猪垣が機能していたわけです。村民が結集して守ってきた猪垣ですので、大宜味村は、第1号の村文化財に指定し、現在も、小学生を対象に「猪垣めぐり」の勉強会を実施しています。ちなみに、現在のイノシシ対策は、山中にネットが敷設され、猪垣の機能を果たしています。



3mの深さがある落とし穴

## イナムドッチは猪もどき

—イノシシが出没するのに、大宜味村名物イノシシ料理という話は聞きませんね。

米須 頻りに食べてきたわけではありませんが、イノシシの肉

はごちそうでしたよ。食べられる機会があると、みんな、喜んだものです。いわゆる「おつゆ」にして食べました。脂分は、それほど強烈ではないです。

—イナムドッチは、お正月料理としてもおなじみですが、故・新島正子氏(元「沖縄調理師専門学校」校長)が「昔は猪の肉を使っていたが、のちに豚肉を使うようになり(猪もどき)が訛って(イナムドッチ)と名づけられたという」という一文を残しています。イノシシ肉の「おつゆ」は、イナムドッチのような味でしたか？

米須 私が食べてきたイノシシ肉の「おつゆ」は、そんな感じではありませんね。間違があるかどうか分かりませんが、琉球王府へ、当地の間切から、歳暮の献上物として「干猪肉」が献上されています。「歳暮上物例」の「公儀へ」のリストに「干猪肉十八斤」、「間得大君殿へ」のリストに「干猪肉壹斤」、「佐敷殿へ」のリストに「干猪肉壹斤」とあります(「大宜味村史」)。お歳暮としての献上物ですから、旧暦11月に行われるウンネー(イモの豊作祈願行事)の際、落とし穴で捕獲したイノシシの肉を使用したのではないかと想像できます。しかし、現在、イノシシを干肉にする食文化が残っていません。天日で干すのは無任がありそうなので、燻製の技術がかつてはあったのかもしれない。燻製の猪肉が昔里へ贈られ、イナムドッチの原型に……、想像を膨らますとキリがありませんね。



リュウキュウイノシシ…ニホンイノシシより小型で耳種とする説がある

(聞き手 鈴木孝史 編集室タッカーハウス代表取締役)

(写真提供) 大宜味村教育委員会、名護市立博物館

<p>株式会社 イノベーション</p> <p>代表取締役 下地 雅也</p> <p>〒500-0001 富山県富山市西中野一丁目1番1号 TEL (098) 981-3332</p>	<p>株式会社 尚輪興建</p> <p>代表取締役 下地 義広</p> <p>〒500-0001 富山県富山市西中野一丁目1番1号 TEL (098) 981-3332</p>	<p>有限会社 アイランドワークス</p> <p>代表取締役 藤井 一郎</p> <p>〒500-0001 富山県富山市西中野一丁目1番1号 TEL (098) 981-3332</p>	<p>宮嶋建設 株式会社</p> <p>代表取締役 黒島 昭正</p> <p>〒500-0001 富山県富山市西中野一丁目1番1号 TEL (098) 981-3332</p>	<p>株式会社 野津商事</p> <p>代表取締役 野津 武彦</p> <p>〒500-0001 富山県富山市西中野一丁目1番1号 TEL (098) 981-3332</p>
---	--	---	--	--

<p>先嶋建設 株式会社</p> <p>代表取締役 黒島 一洋</p> <p>〒500-0001 富山県富山市西中野一丁目1番1号 TEL (098) 981-3332</p>	<p>宮古港運 株式会社</p> <p>代表取締役 砂川 恵映</p> <p>〒500-0001 富山県富山市西中野一丁目1番1号 TEL (098) 981-3332</p>	<p>宮古空港ターミナル株式会社</p> <p>代表取締役 下地 義治</p> <p>〒500-0001 富山県富山市西中野一丁目1番1号 TEL (098) 981-3332</p>	<p>有限会社 富建</p> <p>代表取締役 富山 哲守</p> <p>〒500-0001 富山県富山市西中野一丁目1番1号 TEL (098) 981-3332</p>	<p>株式会社 みなせ</p> <p>代表取締役 羽地 義禎</p> <p>〒500-0001 富山県富山市西中野一丁目1番1号 TEL (098) 981-3332</p>
--	--	--	--	---



## まだ遠い先のことと侮ってはいけない「若年性認知症」

医療ジャーナリスト 大谷克弥

### ▶ 対象は18歳から64歳で、平均発症年齢は何と51歳

近ごろは若年性認知症の患者が主役のテレビドラマがよく放映され、言葉としてはかなり周知されてきました。しかし若年性とは何歳から何歳までか、どんな症状を発するか、などの詳細は相当に複雑なので、理解するのに一苦労します。

2004年12月まで痴呆症と呼ばれていた認知症は、高齢者に多かったので、対象年齢は65歳以上とされてきました。

ただ全ての人が65歳を超えて発症する訳ではないので、40歳から64歳までは初老期認知症として対処されていました。そして厚労省が65歳以下の認知症対策に乗り出したのを機に、18歳から39歳の若年期認知症も加えて、若年性認知症という枠組み(総称)ができたのです。従って若年性認知症は病名ではありません。また、上下の幅が余りに広過ぎるとの批判もあります。

高齢者の認知症には、よく知られている脳血管性型、アルツハイマー型のほかに、少し難しいのですが前頭側頭葉変性型(ピック病を含む)、レビー小体型、交通事故などの頭部損傷による後遺症型など様々なタイプがあります。さらに難解なのは、認知症の前段階とか予備軍と言われる軽度認知障害(MCI)というグレーゾーンもあり、該当者は高齢者認知症とほぼ同数と目されています。これらの分類は、若年性にも全て重なります。

若年性は女性より男性に多く、10代の罹患は僅かですが、年代が上がるにつれ増え、平均発症年齢は約51歳と推定されています。50歳そこそこといえば、会社では中堅幹部、家庭では子供の教育費を背負っているの、なぜ若くして認知症になるのかと身につまされる社会問題になっています。

若年性患者の総数は、約4万人とか、その倍はいるはずとか、諸説ありますが、実数の把握は土台無理という見方が強くなってきています。若年性の初期症状は、先述のMCIなどのほか、うつ病、脳腫瘍、男性にも増えてきた更年期障害、アルコール依存症などとも似通った面があるので、それらの診断で対応されている可能性もあり、線引きは容易ではないのです。

### ▶ 職場で仕事のミスが続けばアルツハイマー型の可能性が

若年性の発症タイプは脳血管性型が40%、アルツハイマー型が25%とされていますが、40代、50代ではその逆であるという報告が数多くあります。そこで認知症を外して、若年性アルツハイマーを病名にする医療機関も増

## 沖縄県宮古事務所県税課からのお知らせ

### ～法人県民税・法人事業税・地方法人特別税の期限内申告・納付について～

法人県民税、法人事業税及び地方法人特別税は、各事業年度終了の日から2ヶ月以内に申告・納付を行っていただくことになっております。会員の皆様には今後とも期限内申告・納付に御協力を頂きますようお願いいたします。

沖縄県ではeLTAX(エルトアックス)を利用したインターネットによる法人県民税、法人事業税、地方法人特別税の電子申告受付を行っております。



#### ☆☆☆ 沖縄県でご利用いただける手続き ☆☆☆

1. 電子申告  
 予定申告、中間申告、確定申告、修正申告、均等割申告、清算確定申告など
2. 電子申請・届出  
 標準様式：法人設立・設置届出、異動届出、延長申請・届出  
 詳しくは eLTAX ホームページ(<http://eltax.jp/>) をご覧ください。



県税に関するお問合せ、納付についてのご相談は宮古事務所県税課(72-2553)までご連絡ください。  
 沖縄県ホームページ (<http://www.pref.okinawa.jp>)

## 【宮古島市】2019年10月1日以後に開始する事業年度分から、法人市民税の税率が変わります！

2019年10月1日からの消費税率10%への引き上げに伴い、法人市民税の法人税割の税率が、下記の通り変更になります。2019年10月1日以降に開始となる事業年度分(※実際の申告及び納付は2020年9月30日以降)からの適用となりますので、申告の際にはご注意ください。

	現行	改正後
	標準(適用)税率	標準(適用)税率
市民税法人税割	9.7%	6.0%

お問合せ：宮古島市役所税務課市民税係法人市民税担当【TEL：0980-72-3751(内線83167)】

代表取締役 <b>佐和田 功</b> 宮古島市平良字西里一〇七七一 TEL(〇九八〇)七二二七五〇五	代表取締役 <b>前田 真哉</b> 宮古島市平良字下里二〇六八一七 TEL(〇九八〇)七二二七五〇五	代表取締役 <b>伊良皆 秀満</b> 宮古島市平良字東仲六三二五〇 TEL(〇九八〇)七二二七五〇五	代表取締役 <b>武富 和裕</b> 宮古島市平良字西里一八一三 TEL(〇九八〇)七二二七五〇五	代表取締役 <b>玉城 篤</b> 宮古島市平良字東仲六三二五〇 TEL(〇九八〇)七二二七五〇五	代表取締役 <b>宮古テレビ 株式会社</b>
代表取締役 <b>共和産業 株式会社</b>	代表取締役 <b>株式会社丸秀</b>	代表取締役 <b>株式会社ヒューマン&amp;アンジェイ</b> 沖縄宮古支社 保険クリニック宮古島店	代表取締役 <b>住宅情報センター 株式会社</b>	代表取締役 <b>株式会社 寄川商会</b>	代表取締役 <b>寄川 俊男</b> 宮古島市平良字西里六〇六八 TEL(〇九八〇)七二二七五〇五

代表取締役 <b>湧川 弘範</b> 宮古島市平良字西里六〇六八 TEL(〇九八〇)七二二七五〇五	代表取締役 <b>株式会社 宮古測量設計コンサルタント</b>	代表取締役 <b>宮古金融保険協会</b>	代表取締役 <b>琉球銀行</b> 沖繩銀行	代表取締役 <b>沖繩海邦銀行</b> 日本生命	代表取締役 <b>住友生命</b> 大同火災
--	------------------------------------	--------------------------	------------------------------	--------------------------------	------------------------------

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます



# 「ようこそ、日本へ」

(株)アルティスタ人材開発研究所 代表 玄間千映子

外国の人々が日本で働く、雇用の門戸が開放されました。国内の雇用が脅かされるのではないかと、言葉も慣習も違う彼らを、社会で、職場でどうやって扱ったらよいかという戸惑いの声が沸き上がっています。それを眺めると、つつい門戸開放の慎重論や排除の方向を展開したくもなるのも当然です。

ですが、たぶん日本においては、雇用の門戸開放は、案外上手くいくばかりでなく、これを日本人の働きの強みを他国の人々と比較する機会とし、日本製品の価格の安さを世界レベルの中で調整する糸口になる、という見方を私はしています。それには、賃金根拠を本来ならきちんと「時間数」から「働きの内容」に移行し、「同一労働・同一賃金」を実施するのが望ましいのですが、年功賃金を土台にしてきた多くの日本の組織は職能給表を拠り所にしていていると思います。

そこで、それを活かしながらの方法を考えてみましょう。職能給表を使いながらの職務給思想の導入には、どの職能にも必要なことを職務遂行の目的に掲げさせましょう。例えば「業務の出来映え」管理として、昔から日本の組織が使ってきたのが「段取り、仕上げ、5S」です。

ものごとを進めるには必ず、相手があります。相手は人間の場合も、道具や材料、情報といった場合もありますが、何かを進めるとき相手の反応を先読みしながら行うという心構えが伴うのが「段取り」ですから、自ずと「計画」や「準備」と違ってきます。「仕上げ」「5S」もそれぞれきちんと意味があつてのことなのですが、それはまた機会のあるときにして、話しを先に進めます。

さて次に、「段取り」を職能給の人事考課表に重ねます。職能給の人事考課表では「職務知識が十分か」という項目は馴染みのあるところだと思いますが、そのそれぞれの目的に「段取り」を掲げ、「段取りをするための“職務知識が十分か”」とすれば、「相手の反応を先読みするのに“職務知識が十分か”」となるので、随分、具体的に近寄れるのではないのでしょうか。具体的に近寄れば、成果管理にも通じます。

「計画」「準備」との違いは、日本語で疎通するという特徴から生じているので、他言語を土台にする人々に教育することはできるけれども、彼らには馴染みの薄い概念なので、日本語を日常語にする日本人との差異、つまり賃金の相対(あいたい)の活動かの判断が容易になるのです。もちろん、こうしたフィルターを一枚入れることは、IT化やマニュアル化の中で緩んできた段取り力を日本人の中にも再認識させ、質の劣化を防ぐことにも繋がります。それには「段取り」の活動を、生産性と繋げて整理しておくことが必須です。「仕上げ」も「5S」もしっかりです。

評価の裏側に教育の用意ができてこそ、評価対象です。具体的活動の質を評価の対象として眺めることに組織が割れてきたら、更にしっかりと質の管理で「同一労働・同一賃金」を履行するために、「ジョブ・ディスクリプション」の用意に入りましょう。

### 【筆者紹介】

玄間千映子(げんま・ちえこ)  
株アルティスタ人材開発研究所代表。國學院大学卒。米インマヌエル大学大学院卒業、米スタンフォード大学ビジネススクール修了。財団法人日本船舶振興会(現日本財団)役員、国会議員各秘書を経て1994年に前身の(有)アルティスタを設立し代表に。2006年現社名に改組。日本経済大学大学院非常勤講師、(一社)水底質浄化技術協会監事などを兼任。著書に「ジョブ・ディスクリプション一問一答」「リストラ無用の会社革命」など。

えています。

高齢者のアルツハイマーは、人の名前や食事をしたことも忘れるようになり、家族が気付くのが一般的ですが、若年性の場合には職場の同僚が不審に思って発覚するケースが多いのが特徴です。それは提出書類の字や日付、計算を間違えるようになるからで、注意しても当人は「あれ、ウツカリしていた」と笑って言い繕います。同僚も疲れているからだと初めは同情的に対応しますが、ミスが毎日のように続き、出先から迷って帰社できなくなったりすると、誰も相手にしなくなり、自主退社という事態に進むケースが多いようです。

アルツハイマー型の原因はまだよく解明されておらず、遺伝性もあるなど難題は多々ありますが、若年性は特に早期発見、早期治療が重要と指摘されています。治療が早ければ完治は難しくても約半数は進行を遅らせることができると言われており、ましてやMCIの段階だと回復の可能性も高いので、人材確保のためにも組織として真剣に向き合うべき時代になってきました。

現在は国の呼びかけで、ほぼ全ての都道府県に若年性の患者や家族を支援する相談窓口が設置されているので、該当者がいれば職場の上司はまず窓口の専門家から適切なアドバイスを受けることです。また、家族にも連絡して、必ず同伴で最寄りの神経内科か、もの忘れ外来を受診するよう勧めるべきです。

高齢者と同様、若年性アルツハイマーの予防法も万人に効果的なものはありませんが、責任感の強い人、几帳面な人、活発な性格の人、ボランティア活動に熱心な人、新聞や書物など活字をよく読む人は、発症の確率が低いそうです。また食生活のしっかりしている人、運動をよくする人も加わるので、要は頭と体をよく使い、食事に気を付ける、ということでしょうか。

団塊の世代が75歳以上になる2025年には、高齢者の認知症患者は700万人超と予測され、65歳以上の5人に1人が認知症に罹患する計算になります。また、これに関連してあるニュースの内容で、関係者の間に衝撃が走りました。それは認知症研究の第一人者で、基礎診断に使う知能検査の開発者でもある長谷川和夫医師(89歳:2019年1月現在)が、2018年10月に自分は1年前から認知症であると公表したことです。本人は当初、アルツハイマー型と思ったようですが、症例が少なく判定の難しい嗜銀顆粒性型(しぎんかりゅうせい)と分かったそうです。問題はこうした高齢者だけでなく、若年性やMCIも存在していることです。認知症とはいつ何時、私たちに迫って来るかも知れない身近な病気であることを肝に銘じましょう。

### 筆者紹介

大谷克弘(おおたにかつや)  
医療ジャーナリスト。東北福祉大学講師。日本医学ジャーナリスト協会会員。読売新聞社出身で、在職中に長年連載「医療ルネサンス」を創設。現在はフリーで、著作、講演活動などに従事。

株式会社 宮古毎日新聞社

代表取締役 山内 忠

代表取締役 伊志嶺 幹夫

宮古島市平良字西里二二七  
TEL(098)7212343

有限会社 昭和建設工業

代表取締役 平井才己

宮古島市平良字西里一五六八一  
TEL(098)7212641

やまと商事 株式会社

代表取締役 宮里敏男

宮古島市平良字西里二七七一  
TEL(098)718036

有限会社 嶺原鋳業

代表取締役 松原峯子

宮古島市城辺字福原一九二  
TEL(098)761686

税理士法人 レッドサポートオフィス宮古島

代表社員 中川孝浩

宮古島市平良字西里四六九一  
TEL(098)7915571

青年部会

租税教室



多良岡小学校  
講師: 下地 充 (青年部会理事)



久松小学校  
講師: 下地 一三 (青年部会理事)



西城小学校  
講師: 平良 貞典 (青年部会会員)



北小学校  
講師: 砂川 拓也 (青年部会理事)



東小学校  
講師: 前田 真哉 (青年部会会員)



北小学校  
講師: 友利 博明 (青年部会理事)



部会員ボウリング大会



会員親睦ゴルフ大会・忘年会

女性部会



沖法連女連協(会員交流事業(八重山会主管))「藍・福木染物体験ストールづくり」



企業視察研修 於: 「石垣島天文台」



第9回絵はがきコンクール審査会



テーマ: 「知らないと損する相続税の話」  
講師: 宮古島税務署長 古謝敏也 氏



ランチミーティング

写真で見る会活動

研修会



新規設立法人説明会  
講師: 税理士 福家敦朗 氏



消費税軽減税率制度対策補助金セミナー  
講師: 宮古島税務署 統括官 鈴木武貴 氏  
内閣府沖縄総合事務局 担当者

事業活動



税制提言活動  
宮古島市長室

(手前) 下地 敏彦 市長  
(向かい左から) 野津会長、上原税制委員長



宮古島市議会議長室  
(中央) 佐久本 洋介 議長

税を考えるつどい



第一部 消費税宣言文朗読  
宮古島関税会 羽地昇子 氏



第二部 講演会  
演題: 「税の話あれこれ」  
講師: 沖縄国税事務所 徴収担当次長 上里 真 氏



第三部 表彰式

★税に関する絵はがきコンクール表彰  
税務功労者 税務署長  
感謝状贈呈など税に関する表彰が行われた

地域貢献活動

～ビジネスマナー講座～

講師: クリスコミュニケーション  
代表 秋尾由美子 氏



9月10日  
宮古工業高校



9月11日  
宮古総合商業高校



